

# 「中小企業・小規模事業者人手不足対応ガイドライン」活用セミナー

少子高齢化・人口減少・採用難の今、労働力の確保が大きな課題となっています。求職者や社員にとって労働環境や会社の将来への関心も高く、採用と定着には企業の明るい未来を示す必要があります。

今回の活用セミナーでは、「企業の人手不足に対応するには？」をテーマとして、SDGs(国連加盟国が2030年末の達成をめざす持続可能な開発目標)の手法を活用し、自社の魅力を高めつつ発信する「未来ストーリーシート」作成の必要性まで学びます。

- 日時: 8月27日(月)  
午後1時～午後5時半
- 会場: 山形県産業創造支援センター  
1階 多目的ホール
- 定員: 30名



## 【タイムスケジュール】

第一部 13:00～13:30

講演「中小企業・小規模事業者人手不足対応ガイドラインの概要について」

講師: 山形県よろず支援拠点 サブチーフコーディネーター 大串康喜氏

第二部 13:45～17:15

ワークショップ「わが社が人手不足に対応するためには」

講師: 一般社団法人イマココラボ

主催 山形県中小企業家同友会 (4委員会合同プレセミナー)・山形県よろず支援拠点・株式会社フィデア総合研究所

お申込は e.doyu またはFAXにてお願いします。FAX023-645-5583(同友会事務局)

\* 締め切り: 8/17(金)(定員になり次第締切とさせていただきます)

「中小企業・小規模事業者人手不足対応ガイドライン」活 用 セ ミ ナ ー

出 席 ・ 欠 席

企業名

氏名

## SDGs とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでおり、同友会でも情勢認識の中で注目しています（2018総会議案書に記載されています）

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 17の目標

1	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
6	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
9	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10	各国内及び各国間の不平等を是正する
11	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12	持続可能な生産消費形態を確保する
13	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる*【国地気候:全般】
14	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する